

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

校訓「最善を尽くして颯爽たれ」及び校是「師弟同行・文武不岐」の精神に則り、「知・得・体」の調和のとれたたくましい「人間力」を育み、自ら課題を発見し、課題解決をする能力を備えた人材の育成。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

○自らの将来や生き方について課題を発見し、課題解決のために主体的に学習し、知識及び技能を利用し、探究する能力を身に付け、課題解決に向けて努力する姿勢を育成する。
○教科学習の内容を横断的に活用する能力の育成。
○他者と協働し、他者の意見を尊重し、解決策を構築する能力の育成。

総合的な探究の時間の学習評価

○課題に対して、学習で得た知識及び技能を活用し、課題解決に向けて努力し、成果を得ることができる。
○知識技能を結び付け、解決策を見出し、他者に伝えることができる。
○課題解決に向けて主体的に取り組み、新たな課題を見出そうとする姿勢が身についている。

生徒の実態

○落ち着いて学習を行っている一方、自らの生き方について主体的に考えることができずにいる生徒が多く、総じて受け身である。
○文章にまとめたり、人前で話したりすることに苦手意識を持っている。
○他者の気持ちや考えについて、客観的に理解する力に乏しい。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

○グループワークの機会を充実させ、他者理解を深め、協働して課題解決をすすめていく。
○担当教員だけでなく、多様な人材を活用し、自ら学ぶ姿勢が見につくようサポートする。

目指す生徒の姿

○自らの生き方について主体的に考えて行動できる。
○自ら体験したことや自分の考えについて、まとまりのある内容で説明したり伝えたりできる。
○身近な人々に対して共感的理解ができる地域の課題を見つけ、解決に向けた方法を主体的に学習し、他者と共有できる。

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

【1学年】地域的な課題を見出し、自分の将来と結び付け、地域社会に貢献できる人材を育成する。

- (1) 知識及び技能
多様な情報を活用し、地域の課題を見出す。
教科等横断的に知識を結び付け、知識技能一層深めて活用する。
(2) 思考力・判断力・表現力
課題解決に向けて、知識技能を適切に関連させていく。
自分の判断を的確に他者に伝え、共有していく。
(3) 学びに向かう力・人間性等
自分が課題解決に向けてどのように関わりを持ち、課題解決を進めていけるか考え、行動する力。また、そこから考えられる新たな課題を見出し、発展的に解決に導く力。

【2学年】地域課題と自分の生き方を結び付け、地域貢献できる人材育成のための探求活動を行う。

- (1) 知識及び技能
地域活性化の視点から、教科の学習内容と多様な情報を結び付ける。
知識技能の入手方法の研究
(2) 思考力・判断力・表現力
得られた知識技能から新たな知識を創造し、課題解決手段として構築し、他者の理解を得る。
(3) 学びに向かう力・人間性等
探究課題を通じて自己を見つめ、主体的に自分の将来について考えるとともに、様々な生き方について認め、尊重しようとする。

【3学年】自己実現と社会参画について主体的に行動する。

- (1) 知識及び技能
特定の学問分野や職業について、専門家の話や資料などからより深い知識を得る。
(2) 思考力・判断力・表現力
学んだ内容について情報を収集し、整理してまとめ、発表する。
(3) 学びに向かう力・人間性等
探究課題を通じて自己を見つめ、主体的に自分の将来について考え、具体的に行動し、進路実現に向けて努力することができる。

学習活動、指導方法等

【1学年】

- 探究スキルの育成
調べ学習や発表の方法、考えの深め方など探究を行う上で必要なスキルを育成する。
○職業調べ
グループごとに探究する職業・学部を選び、探究し、発表する。
○社会人インタビュー
地域の社会人を招き、希望別に講話を聴講。地域課題や地域貢献についての知識技能を習得する。
○大学見学会
希望コースごとに実施。事前学習、実施、振り返り、発表を行う。

【2学年】

- 課題探究学習
1学年で身につけた知識を用い、グループで地域課題を設定し、探究学習を実施する。
情報収集方法、分析・検討、プレゼンテーション能力を育成する。
○大学模擬授業
進路希望に合わせて実施。事前学習、振り返りなどを行う。
○国際交流
JICA 職員等の講話を聴講し、グローバル社会の課題を学習することにより、身近な地域の課題を見出す力を養う。
○進路別バス見学会
希望コースごとに実施。事前学習、実施、振り返り、発表を行う。

【3学年】

- 進路別ガイダンス
多様な分野の教員を招き、希望別に講話を受講。事前学習、実施、振り返り、発表を行い、自分の進路実現に向けて主体的に行動する。
○小論文講座
自分自身の進路に関すること及び他者や社会との関わりに関する視点を育成し、自己の進路に関する新たな課題を設定し行動する。

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- 探究学習推進委員会
地域貢献を担う人材を招請、行政機関との連携、大学・専門学校教員との交流
授業担当者会議の運営(4月、9月、11月、2月)、総合的な探究の時間研修会(6月、10月)、探究学習発表会(2月)
IBARAKI ドリーム・パス事業推進
○学校運営委員会
教務部…有効なカリキュラムの構築と行事の配置。適切な学習評価。図書室の整備・活用、ICT環境の整備。
進路指導部…大学・専門学校との連携、探究学習と進路選択の有益な結合。
○研究構想委員会
チャレンジプロジェクトとの融合